

平成 25 年度

請負工事成績評定の受注者自己評価の結果について

1 受注者自己評価の目的

受注者が自ら施工した工事に対して、成績評定による評価を実施することで、成績評定の理解向上が図られ、成績向上のための取組が共通仕様書や契約図書に基づく施工プロセスの確実な実施に繋がり、その結果、公共工事のより一層の品質確保が図られることを目的として実施しています。

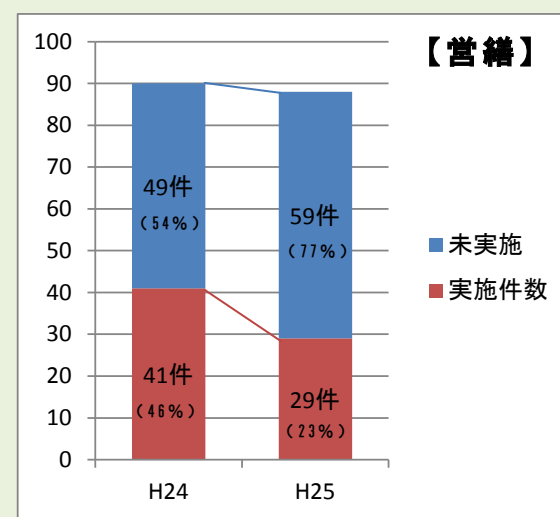
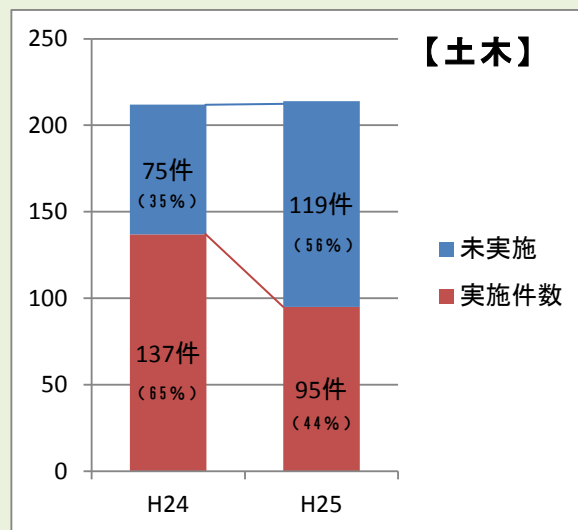
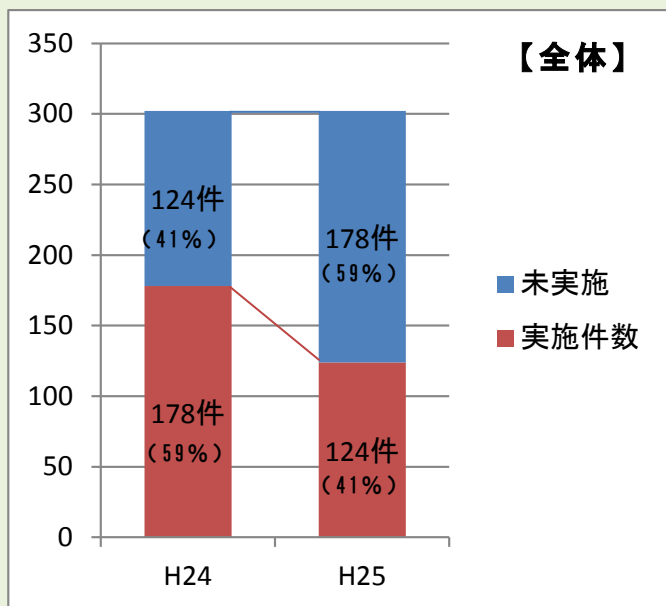
2 自己評価対象工事

- 土木・建築・電気・機械の4工種
- 設計金額500万円以上
- 6月以降に着手し年度内にしゅん功する工事

- ・上記条件により、工事主任1人当たり1件程度とし任意に選定
- ・受注者に自己評価の趣旨を説明し、了解が得られたものについて実施
- ・自己評価の実施者は受注者の現場代理人（工事現場の総括責任者）

3 対象件数と実施件数及び実施率

	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 24～25 年度の実施率の推移
	対象件数	実施件数	実施率	対象件数	実施件数	実施率	
土木	212 (70%)	137 (77%)	65%	214 (71%)	95 (77%)	44%	21 ポイント低下
営繕	90 (30%)	41 (23%)	46%	88 (29%)	29 (23%)	33%	13 ポイント低下
全体	302 (100%)	178 (100%)	59%	302 (100%)	124 (100%)	41%	18 ポイント低下



土木と営繕を合わせた全体の**実施率は平成 24 年度の 59%から 41%へ低下**

4 自己評価評定項目

受注者による自己評価の評定項目は、下記の「請負工事成績採点表」のうち①と②が対象です。

①・・・工事主任の考查項目の9項目の全てが対象

②・・・工事主任の上司の考查項目の4項目のうち2項目が対象

総合評定点は、工事主任①の40%+工事主任の上司②の20%+検査員③の40%の合計

様式1号（共通）

請負工事成績採点表

工事番号	() 第 号	工 種	工事内容																		
工事名																	契約金額（最終）				
請負者名																	契約工期		平成		
考 査 項 目	考 査 項 目	細 別	工 事 主 任					工 事 主 任 の 上 司						検 査 員 ()							
			氏名					氏名						氏名							
			a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般		+1.0	+0.5	0	-5.0	-10														
	II. 配置技術者		+3.0	+1.5	0	-5.0	-10														
2. 施工状況	I. 施工管理		+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II. 工程管理		+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15							
	III. 安全対策		+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15							
	IV. 対外関係		+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0														
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形		+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0							+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	
	II. 品質		+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0							+15	+12	+7.5	+4.0	0	####	-25	
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5		
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2																				
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3																				
6. 社会性等	I. 地域への貢献等																				
加減点合計（1+2+3+4+5+6）			± . 点					± . 点						± . 点							
評定点（65点±加減点合計） ※1			① . 点					② . 点						③ . 点							

5 自己評価の結果

(1) 工事主任の評定点①における比較

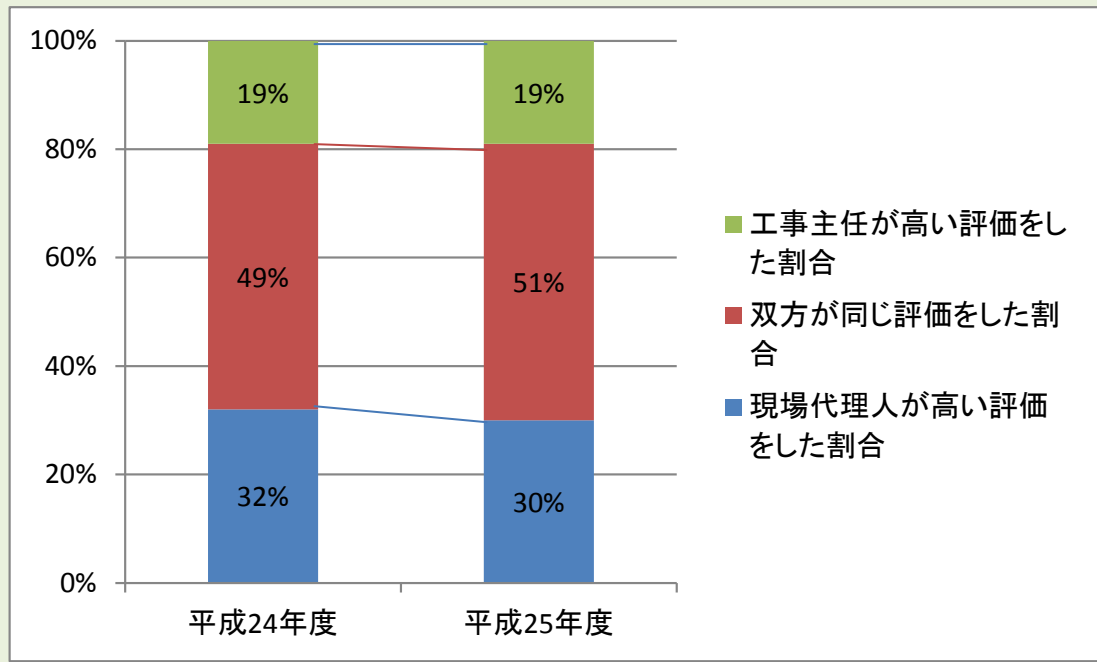
工種	年度	4 自己評定項目の①の欄			総合評点の換算値	
		工事主任	現場代理人	① 評定点差	① 評定点差 × 40%	前年比
土木	平成 24 年度	76.1 点	79.2 点	+ 3.1 点	+ 1.2 点	差が 0.4 点縮小
	平成 25 年度	75.7 点	77.8 点	+ 2.1 点	+ 0.8 点	
営繕	平成 24 年度	77.5 点	78.7 点	+ 1.2 点	+ 0.5 点	0.5 点縮小し差が無くなった
	平成 25 年度	78.8 点	78.8 点	+ 0 点	+ 0 点	

総合評定点の換算値の差

土木工事・営繕工事ともに平成 24 年度の結果より乖離が少なくなっている

(2) 工事主任の評定点①の内訳（**考査項目**）における詳細比較

【土木工事】
 現場代理人と工事主任の双方の
 評定が一致している割合
 49%から 51%に向上
 乖離が少なくなっている



土木工事	年度	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全管理	対外関係	出来形	品質	創意工夫	合計	前年比
工事主任の方が高い評定となっている割合	平成24年度	25%	24%	26%	26%	14%	26%	15%	9%	6%	19%	—
	平成25年度	23%	21%	22%	24%	19%	22%	15%	18%	4%	19%	
双方の評定が一致している割合	平成24年度	44%	48%	53%	52%	49%	47%	49%	68%	27%	49%	2ポイント
	平成25年度	44%	51%	56%	59%	56%	43%	49%	63%	35%	51%	向上
現場代理人の方が高い評定となっている割合	平成24年度	31%	28%	21%	22%	37%	27%	36%	23%	67%	32%	2ポイント
	平成25年度	33%	28%	22%	17%	25%	35%	36%	19%	61%	30%	低下

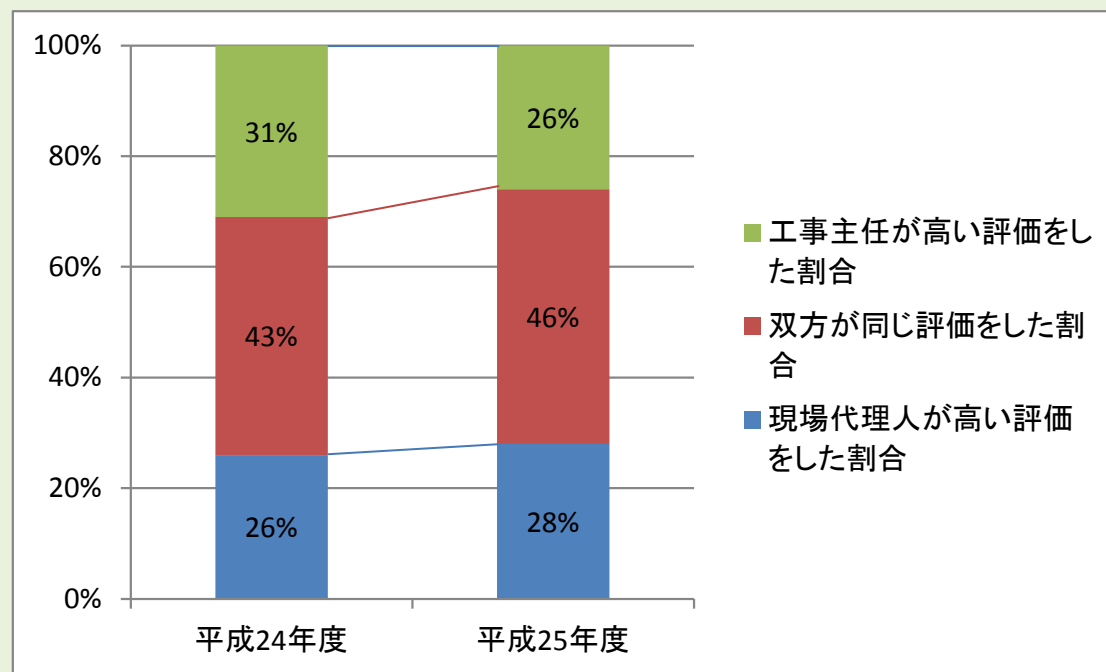
【営繕工事】

現場代理人と工事主任の双方の

評価が一致している割合

43%から 46%に向上

乖離が少なくなっている



営繕工事	年度	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全管理	対外関係	出来形	品質	創意工夫	合計	前年比
工事主任の方が高い評価となっている割合	平成 24 年度	27%	34%	27%	24%	32%	32%	32%	29%	2%	26%	2ポイント向上
	平成 25 年度	31%	24%	24%	38%	31%	38%	24%	41%	3%	28%	上
双方の評価が一致している割合	平成 24 年度	44%	27%	47%	47%	42%	44%	51%	51%	30%	43%	3ポイント向上
	平成 25 年度	48%	52%	45%	45%	45%	45%	62%	38%	34%	46%	上
現場代理人の方が高い評価となっている割合	平成 24 年度	29%	39%	26%	29%	26%	24%	17%	20%	68%	31%	5ポイント低下
	平成 25 年度	21%	24%	31%	17%	24%	17%	14%	21%	62%	26%	下

(3) 工事主任の上司の考査項目⑥における比較

土木工事	年度	工事特性	社会特性	合計割合	前年比
工事主任の上司の方が高い評定となっている割合	平成 24 年度	13%	16%	15%	3 ポイント低下
	平成 25 年度	12%	13%	12%	
双方の評定が一致している割合	平成 24 年度	66%	56%	61%	9 ポイント向上
	平成 25 年度	70%	70%	70%	
現場代理人の方が高い評定となっている割合	平成 24 年度	21%	28%	24%	6 ポイント低下
	平成 25 年度	18%	17%	18%	

営繕工事	年度	工事特性	社会特性	合計割合	前年比
工事主任の上司の方が高い評定となっている割合	平成 24 年度	44%	2%	23%	6 ポイント向上
	平成 25 年度	59%	0%	29%	
双方の評定が一致している割合	平成 24 年度	17%	73%	45%	5 ポイント向上
	平成 25 年度	17%	83%	50%	
現場代理人の方が高い評定となっている割合	平成 24 年度	39%	25%	32%	11 ポイント低下
	平成 25 年度	24%	17%	21%	

現場代理人と工事主任の上司の双方の評定が一致しているものの割合

土木が 61%から 70%

営繕が 45%から 50%

に向上し乖離が少なくなっている。

6 まとめ

平成 25 年度、受注者自己評価に協力を得られたのは対象工事 302 件のうち 124 件で実施率としては 41% となり、昨年の 59%からは 21 ポイントの低下となりました。しかし評価結果を見ますと、現場代理人と工事主任および工事主任の上司ともに昨年より考査項目の乖離が少なくなっており、評定制度の理解が一段と深まっていると思われます。

創意工夫につきましては、他の項目に比べるとまだ若干の差があります。施工計画時等に工事主任と協議するなどして意思の疎通を図ることにより乖離は少なくできると考えています。今後も協力をお願いします。

またホームページに掲載している「創意工夫の評価について」

http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/documents/souikufu_hyoka_220401.pdf (土木)

<http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/documents/soikufu.pdf> (営繕)

をご覧くださいと思います。

最後になりますが、受注者自己評価の実施にあたり、ご理解とご協力をいただきました受注者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。